

10月5日（土） 生沢（生沢会館にて）

〈主なやり取りと対応状況〉

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

- 予算額が変わった。設計変更があったとのことであるが、なぜ町民負担をそこまで減少できたのか。今回の交付金の話が出た理由は何か。
 - ⇒ 国との話し合いにより町役場新庁舎に津波対策を施すと地方交付税交付金が出ることになりました。津波浸水区域内から移転する場合は、建設費用の約7割の交付金をもらえましたが、引っ越さなくても同等の効果がある場合には交付金をもらえることが分かりました。
そこで、1階は会議室などとして2階に執務室をもっていくこと、また地下室を無くすことによりこの交付金の対象となって何十億円もの町の負担が減となりました。
- 同じ職員がやっていてその案が出てこなかったのか。町長一人のお考えやってきたのか。
 - ⇒ 私がよく調べた方が良いと伝え、職員が調べ直したら分かったことです。
- 前の計画とどこがどのように変わったのか。
 - ⇒ 1階は会議室などとして2階に執務室をもっていくこと、また地下室を無くすことにし、津波防護壁の整備を行うと交付金がもらえなくなるので、それは止めました。

【消防署の建替えと本庁舎建て替え】

- 消防署の建替えは、現在地から町の中央に持ってくる話が上がっているが、本庁舎も持ってこられないのか。
 - ⇒ 私も西小磯あたりに役場本庁舎を移転させたいと思っていました。このため、耐震補強で現在の庁舎を維持しながら、移転用地検討、農業関係の法規制を整理すると考えていました。しかし、町議会からは現在の場所での建替えを決議されました。

【調整区域の活用について】

- 人口減少といっても、調整区域にも人口が増えてくると思う。
 - ⇒ 神奈川県と調整区域の変更について話していますが、人口減少が見込まれる自治体は容易に調整区域を市街化区域に変更できないとのこと。
 - しかし、西久保・黒岩・虫窪の3地区では地区計画を地域合意で策定すると、住宅や観光施設を建築できる、調整区域でもできることはあると話しいを進めています。
- 給食センターが建設されるという噂が出ているが本当か。
 - ⇒ 現在、学校給食は「自校式」で実施する方向が示されていますので給食センターで実施するには、計画の見直しが必要となります。
- 国府中学校の裏にセンターが作られるのではと思ったが。
 - ⇒ 国府中学校は給食室を増設できるほどの用地がないようです。また、大磯中学校は建築年数が最も古い1号館の建替えと、次に古い2号館、そして3号館も踏まえて検討していかなければならないと思っています。
 - 町の現時点の基本方針は、自校式ですが、一方で高齢者の配食や災害時の炊き出しなどセンター式給食の可能性もあると考えています。
- 大磯町における介護の現状について、団塊の世代が高齢化し、施設スタッフも十分ではない中、認知症の入所者の自立支援については、行政の支援をお願いしたい。
 - ⇒ 具体的なお話があれば、町が必要な支援を行います。
- 境川の護岸整備が進まないのので県と協議して事業の促進をしていただきたい。
 - ⇒ 今年度は県が境川沿いの樹木伐採を行うと聞いています。引き続き、県には事業促進をお願いしていきます。
- 関東のふれあいの道などで「あおぼとトレイルラン」が開催されている。鷹取山周辺にトイレ新設できないか。バイオの力で汚物を分解でき、水が不要なトイレもあるので一考いただきたい。
 - ⇒ 昨年、同じようにトイレを谷戸川のほとりに設置してほしいというご意見を出前町政報告会でいただき、検討していたところ反対意見が示されました。まずは「仮設トイレ」を置くなどして状況を検証する必要があると思います。

○ 県道 63 号線沿いのセブンイレブン、ガソリンスタンド前が冠水した。原因とは橋の欄干に引っかかった丸太が川の流れを堰き止めたためである。町は再発防止を考えているか。

⇒ 丸太が流れてくることを止める対策は難しいですが、川があふれやすい場所については、護岸のかさ上げ工事を行う方向です。

○ 台風第 10 号による時間あたりの最大時間雨量は 46 mmであった。ニュースでは 100 mmというところもあったが、河川の護岸施設などは大丈夫なのか。

⇒ 不動川などの護岸はハード面では最大時間雨量は 50 mmまで耐えられるように設計されています。このため、50 mmを超える雨量の場合は、災害発生が見込まれますので、早めに避難していただくことをお願いします。

以上